大刀洗小唄

作詞　不　詳
作曲　平田忠吾

一　菊池渡りに桜が笑めば
　里はさみどり花模様
　蝶も舞います菜の花に
　ホンニネ　ホンニよいとこ　大刀洗

二　江戸の社にあかりがともりゃ
　甘い夜風の夕涼み
　川原のほたるも二人づれ
　ホンニネ　ホンニよいとこ　大刀洗

三　高い煙突けむりを吐けば
　銘酒(さけ)の香りが鼻をつく
　月もほんのり酔い心地
　ホンニネ　ホンニよいとこ　大刀洗

四　床島堰から溢れる水に
　乙女十八田植うた
　村はみのりの穂がなびく
　ホンニネ　ホンニよいとこ　大刀洗

五　朝な夕なに静かに鳴るは
　聖母マリヤをしのぶ鐘
　金のクルスを胸にだく
　ホンニネ　ホンニよいとこ　大刀洗

六　三原城址に秋風たてば
　白いススキの穂がゆれる
　昔をしのぶ虫の声
　ホンニネ　ホンニよいとこ　大刀洗